

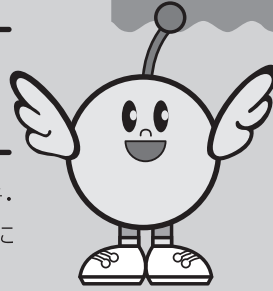
# ふくしまの 今が分かる 新聞

故郷とあなたをつなぐ  
情報誌

「ふくしまの今が分かる新聞」では、県内外に避難されている皆さまや被災者・避難者支援に携わる多くの方々へ、避難者支援の取り組みや福島復興に向けた動きなど「ふくしまの今」が分かる情報をお届けします。

発行：福島県庁 避難者支援課  
☎024-523-4250

vol.85  
令和3年5月14日(金)発行



ひとつ、ふたつ、  
実現する  
ふくしま

## 特集

### ふくしまのGAP認証取得に向けた 取り組みについて

- 避難先自治体でのワクチン接種について
- 高速道路無料措置の延長について
- 読者アンケート&プレゼント

考えてみよう。  
ふくしま  
のこと。

## ジュピアランド ひらた (平田村)

平田村のジュピアランドひらたでは、4月中旬から5月中旬にかけてシバザクラが見頃を迎えました。17,000㎡ものシバザクラ園に咲く花々は、実に約25万株。鮮やかな光景が山里に春を告げていました。シーズン中は「芝桜まつり」も開催され、展望デッキからの眺めが人気となっています。6月から7月にかけてはアジサイやユリも見頃を迎えます。

## 特集

# ふくしまの GAP認証取得に向けた 取り組みについて

福島県では、県産農産物の安全確保に向けた管理手法としてGAPに着目。  
2017年に「ふくしま。GAPチャレンジ宣言」を行い、GAP日本一を目指して  
認証取得にチャレンジしています！

## GAPとは

- GAPとは、**Good Agricultural Practice**の略で、食の安全性をはじめ、環境保全や労働安全などに配慮した、よりよい農業を実践する取り組みのことです。
- 専門会社がこの取り組みを審査し、認められた農場にはGAP認証が与えられる制度となっています。
- GAP認証には、国際水準(GFSI承認)のGLOBALG.A.P.、ASIAGAP、日本で最も多く取り組まれているJGAPのほか、福島県オリジナルのFGAPなどがあります。
- GAP認証は、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の食材調達基準になっています。

## 福島県内で進められているGAPの取り組み

野菜		
● = トマト	／ = 自然薯	● = パプリカ
● = ミニトマト	● = ばれいしょ	● = たまねぎ
● = ほうれんそう	● = カリフラワー	／ = さやいんげん
／ = きゅうり	● = かぼちゃ	● = にんじん
／ = アスパラガス	● = なす	● = いちご
● = キャベツ	● = かぶ	● = とうもろこし
● = レタス	● = にんにく	／ = さやえんどう
● = リーフレタス	● = だいこん	● = こまつな
● = しゅんぎく	／ = えだまめ	● = こんにゃくいも
● = ケール	● = バジル	● = 高麗人参
● = ねぎ	● = ベビーリーフ	● = 発芽にんにく

米、そば、麦、大豆	果樹	
／ = 米	● = もも	● = 西洋なし
● = そば	● = すもも	● = さくらんぼ
● = 大豆	● = ネクタリン	● = ブルーベリー
／ = 六条大麦	● = かき	● = ぶどう
／ = はとむぎ	● = りんご	● = さるなし
	● = 日本なし	● = フェイジョア

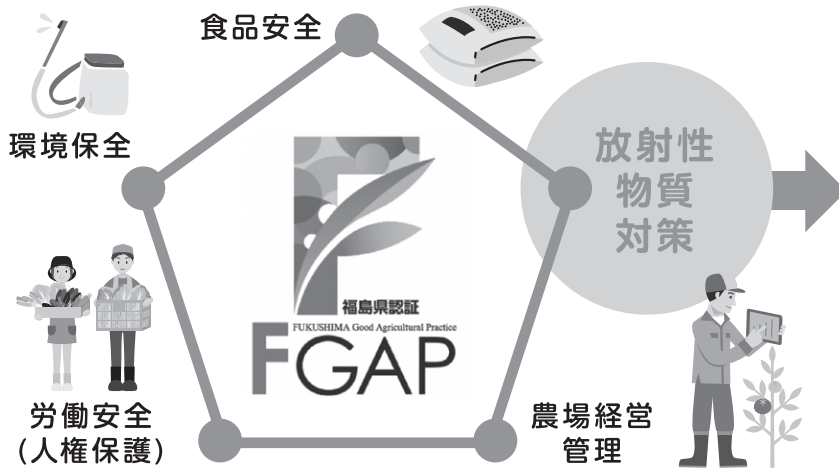
きのこ	畜産
● = しいたけ	● = 豚
● = なめこ	● = 鶏卵

令和元年12月31日現在、  
福島県環境保全農業課調べ

# 放射性物質対策を充実させた、福島県独自の認証「FGAP(ふくしま県GAP)」

風評払拭に向けてGAP日本一に取り組む中、福島県では独自の「FGAP(ふくしま県GAP)」認証制度を設けました。食品安全や環境保全、労働安全などGAPの基本的な取り組みに加えて、放射性物質対策についても充実させた規格となっています。

## 「FGAP」5つの取り組み



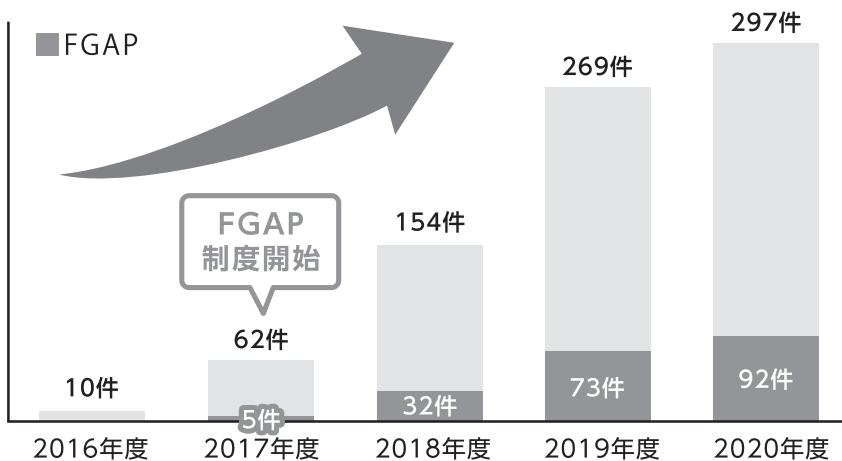
## 「FGAP」独自の取り組み

- 農作物に放射性セシウムを吸収させないための対策
- 資材や作業機械に付着した放射性物質による農産物への汚染防止
- 出荷前検査による安全性の確認

県産農産物の安全確保  
消費者からの信頼性向上

## 県内のGAP認証取得件数、ますます増加中!

実施農場は約700農場! (2020年12月31日現在)



2017年5月の  
「ふくしま。  
GAPチャレンジ宣言」後  
取得数・品目が拡大!

農業高校10校、  
農業短期大学校で  
GAP認証取得済み!!

## 「ふくしま。GAPチャレンジ」ポータルサイト運営中!

福島県内のGAP認証取得者や認証品目の情報、イベント、「ふくしま。GAPチャレンジTV (YouTube)」などGAPに関する様々な情報を掲載している専用サイトを開設しています。



詳しくは「ふくしま。GAPチャレンジ」ポータルサイトへ。 <https://gap-fukushima.jp/>

問 福島県農林水産部環境保全農業課 ☎024-521-7342



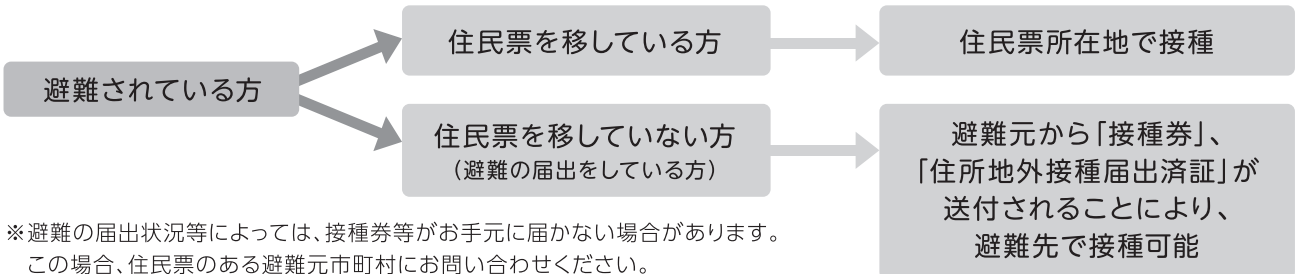
## 避難されている皆さまの避難先自治体でのワクチン接種について

新型コロナウイルスワクチンの接種は、住民票がある市町村で受けることが原則とされています。

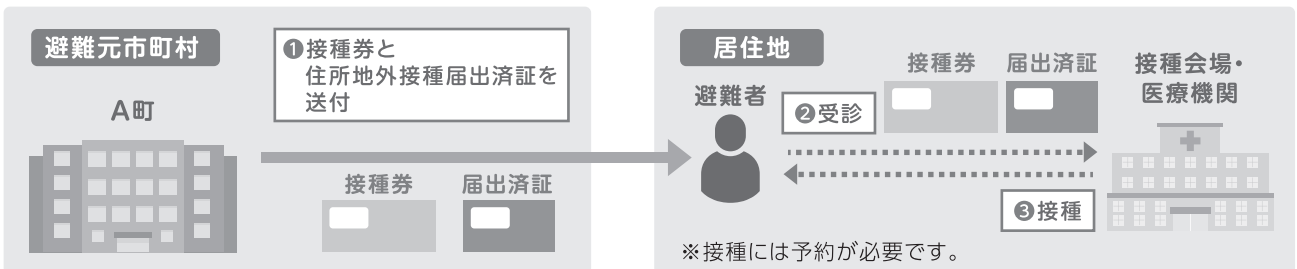
一方、東日本大震災により避難されている皆さまは、住民票を移していない場合でも、特別な手続きを行うことなく、避難先市区町村で新型コロナウイルスのワクチン接種を受けることが可能となりました(避難の届出をしている方に限りです)。

住民票のある避難元市町村から「接種券」と「住所地外接種届出済証」が送付されますので、避難先の住民と同様に接種予約をし、この両方を接種会場に持参いただければ、接種が可能となります。

なお、予約手続きは、避難先市区町村によって異なりますので、避難先市区町村に確認いただくか、広報等で確認されるようお願いいたします。



※避難の届出状況等によっては、接種券等がお手元に届かない場合があります。  
この場合、住民票のある避難元市町村にお問い合わせください。



※避難先市区町村以外の自治体(避難元自治体を除く)で接種を希望する場合は、希望する自治体に「住所地外接種届出済証」の申請手続きをしていただく必要があります。

※接種について不明な点、心配な点がありましたら、避難元市町村へお問い合わせください。



## 高速道路無料措置の延長について

警戒区域等に居住されていた方 令和4年3月31日まで延長されました

原発事故による警戒区域等からの避難者に対する高速道路の無料措置は、平成24年より、避難者の一時帰宅等を支援する目的で実施されています。

現在、通行の迅速化と携帯性等の利便性向上のため、平成30年7月1日よりカード(ふるさと帰還通行カード)による通行へ完全移行しています。従前からの被災証明書等の提示による通行はできなくなっておりますので、申請がお済みでない方は、お早めに各市町村へ手続きを行ってください。

母子避難者等 令和4年3月31日まで延長されました

原発事故による母子避難者等に対する高速道路の無料措置は、平成25年より、避難して二重生活となっている家族\*の再会を支援する目的で実施されています。現在証明書をお持ちで、次に該当する場合、速やかに手続きをとられるようお願いいたします。

手続きが必要な場合	必要な手続き
避難元の市町村へ帰還された場合	無料措置の対象外となるので、避難元市町村に証明書を返却してください。
子どもが令和3年度中に満18歳となった場合 ①子どもが満18歳となった方のみ ②①以外で支援対象となる子どもが避難している場合	①無料措置は令和4年3月31日までとなります。 令和4年4月以降、避難元市町村に証明書を返却してください。 ②支援対象の子どものみを記載した証明書の再発行を避難元市町村に申請してください。
証明書に記載の住所と現住所が異なる場合	証明書を発行した避難元市町村へ再申請してください (書き換えのされていない証明書は無効です)。

※対象は、震災発生時に福島県中通り及び浜通り(警戒区域等を除く)に居住しており、避難して二重生活となっている母子避難者等(妊婦含む)及び対象地域内に残る父親等であって、かつ、避難する子どもが18歳以下であること。

問 [全体に関すること] 福島県避難者支援課 ☎024-523-4250

[証明書の申し込みに関すること] 各市町村

〇〇市町村 避難者 高速道路無料

検索



## 令和3年度 福島県復興公営住宅の入居者募集について

復興公営住宅の入居者の募集を下記の日程で行います。

### 対象の方

- 避難指示区域等から避難されている方
  - 避難指示が解除された区域に平成23年3月11日に居住していた方
  - 東日本大震災で被災された「地震・津波被災者」の方
  - 子ども・被災者支援法に定める「支援対象避難者」の方
- ※ 住宅に困窮していることが要件となります。

### 募集期間及び入居予定

第2回	令和3年6月1日(火)～6月9日(水)	→ 令和3年8月以降入居予定
第3回	令和3年8月2日(月)～8月10日(火)	→ 令和3年10月以降入居予定
第4回	令和3年10月1日(金)～10月12日(火)	→ 令和3年12月以降入居予定
第5回	令和3年11月25日(木)～12月3日(金)	→ 令和4年2月以降入居予定
第6回	令和4年2月1日(火)～2月9日(水)	→ 令和4年4月以降入居予定

募集の詳細(対象団地、応募要件等)は、福島県復興公営住宅入居支援センターへお問い合わせください。また、入居支援センターのホームページ等でも詳細をお知らせします。

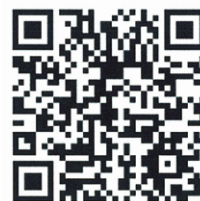
問 福島県復興公営住宅入居支援センター ☎024-522-3320



## 今後福島県で働く予定の方の奨学金返還を支援します (令和3年度第1期募集)



今後福島県で働きたい方の奨学金返還を県が支援します。  
4年制大学の学生の場合、支援金額は最大153万円。既卒者の場合は最大100万円。令和3年6月25日(金)まで応募受付中です。対象や応募要件等の詳細はQRコードからご確認ください。



問 福島県雇用労政課 ☎024-521-7290



## 令和3年度 避難農業者経営再開支援事業の募集について

原子力被災12市町村外(県外含む)の避難先・移住先で農業経営を再開・規模拡大するために必要な経費を補助します。

### 対象者

原子力災害発生時に原子力被災12市町村\*1に居住し、営農していた方で、直近の事業年度の農産物販売金額が被災前と比べ50%以下の方(新規就農者は除く)。  
※1 田村市、南相馬市、川俣町、広野町、楡葉町、富岡町、川内村、大熊町、双葉町、浪江町、葛尾村及び飯館村

### 補助対象経費

- ① 農産物の生産、流通、販売に必要な機械等の導入
- ② 農産物生産に必要な施設の整備
- ③ 果樹の新植・改植、花き等の種苗や肥料、農薬等の諸材料等の導入
- ④ 家畜(肉専用繁殖雌牛/搾乳用雌牛/豚)の導入
- ⑤ 農地または採草牧草地の賃借

### 補助上限額・補助率

果樹の改植・新植及び家畜の導入は別途補助金の上限額があります。  
● 補助対象経費の上限額は1,000万円。  
● 補助率は対象経費の1/3以内。申請時に避難元市町村が帰還困難区域等だった場合は3/4以内\*2。  
※2 帰還困難区域等の農地台帳に登録されているか、住民票を有している方で、将来的に原子力被災12市町村で営農再開する意思があることが確認される方。

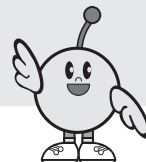
### 申請方法

県ホームページから様式をダウンロードし、原子力災害発生時に居住していた市町村に提出してください。

### 募集期間

令和3年4月12日(月)～令和3年12月3日(金)

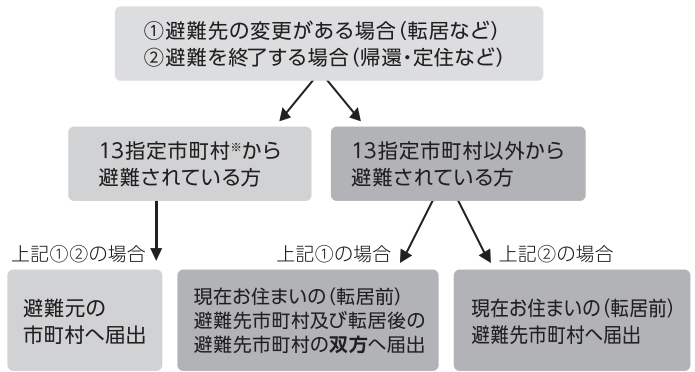
問 福島県農業振興課 ☎024-521-7344



## 避難先情報の届出のお願い

避難先の変更(転居をする場合など)がありましたら、右の市町村あてにご連絡いただくようお願いいたします。福島県や避難元市町村からののお知らせを着実にお届けできるようになるほか、下記の13指定市町村から避難されている方は、避難先においても一定の行政サービスを受けることができます。

※いわき市、田村市、南相馬市、川俣町、広野町、楡葉町、富岡町、大熊町、双葉町、浪江町、川内村、葛尾村、飯舘村



## ふくしま Voice

帰還した人、起業した人、移住してきた人の声を紹介します。

Vol.19

根本茂樹さん  
(楡葉町で勤務)



### お客様第一をモットーに、地元でスーパーを再開。

楡葉町でスーパー「ブイチェーンネモト」を再開しました。ここは役場近くにできた商業施設「ここなら笑店街」の1店舗として、2018年6月にオープン。町の居住人口は震災前の半分ほどですが、町民や作業員の方など大勢のお客様にご利用いただき、感謝しております。

震災前は、町内で2店舗を営んでいました。震災後は栃木県への避難を経て、2011年5月に広野町に小規模店舗を開業。8月にはJヴィレッジに出店し、11月にはいわき市の仮設住宅にも新しく店舗を設けています。作業員や避難者の方々にご利用いただき、お弁当やお刺身などを望む声にこたえることができました。2013年5月に楡葉町内に集約して本店を再開させた後、現在の姿となっています。

振り返ってみれば、不思議と避難時にも悲観することはなかったんです。根拠がないながら「必ず楡葉町に戻れる」と考えていました。周囲は地元での再開に反対する声もありましたが、従業員たちや仕入先様の協力によって再開を果たすことができました。

お客様から「あってよかった」「おいしかった」とお礼を言われたときには、疲れも吹き飛び「再開してよかった」と感じます。引き続き「いかにお客様に喜んでいただくか」を追求して仕入れやサービスに取り組んでいきたいと思えます。

日頃から店頭  
に立っている根本社長

お刺身とお総菜には  
自信があります!



## プレゼントが当たる! 読者アンケート

福島県の素敵な産品を抽選でプレゼント!

960-8670

福島県庁  
避難者支援課  
「今が分かる  
新聞」係

- ① アンケートの回答
- ② 記事の感想、今後取り上げてほしい情報、その他ご意見など
- ③ 住所・氏名・年齢・電話番号

### アンケートの質問

東日本大震災からの10年  
振り返って感じること、  
現在の仕事や暮らしぶり、  
これらについて  
考えていることなどを  
教えてください。

郵便はがきに必要な事項をご記入の上、お送りください。

締切 2021年 6月30日(水) ※当日消印有効 ※個人情報商品の発送にのみ使用します。

私の10年Voice

アンケートで寄せられた10年を振り返るご意見については「私の10年Voice」として紹介させていただく場合があります。

## 今回のプレゼント

チーズブッセ  
(8ヶ入り)

創業以来、不動の  
人気No.1です!!



※写真はイメージです。

プレゼント提供: Cream house アトリInobuya(いわき市)

震災前は大熊町と富岡町で「お菓子のよこた」として営業。いろんな想いや人との絆をつないでくれた、人気の「チーズブッセ」。こちらをお届けします!



震災10年のふくしまの動き... バックナンバーでチェック!

福島 今が分かる新聞

検索

